

## 令和6年(2024) 12月 『小さな社会の始まり！？』

10月26日(土)、松子のネイチャークラブの田んぼに、たくさんの大人たち、そして、子どもたちが集まってきました。よく晴れた暖かい日とあって、大人も子供も、説明を聞き終わると勇ましくも素足や長靴といった出立ちで、キッズ田と呼ばれる田んぼに入って行きました。作業すること1時間、あっという間に、稲を刈り終え、次は、少し上の田んぼへ移動。

今度は、子どもたちも要領がわかってきたのか、鎌を手に稲刈りをする子、ソリを引くように稲を運び出す子、稲を干す「おだ」まで稲を運ぶ子・・・と、上手く分業して、作業が始まりました。子どもたちの身体を張った奮闘で、こちらも1時間弱で作業終了。12時過ぎには、昨年、この田んぼでとれた緑米を使ったカレーをいただきました。

稲を刈って、干すという作業。単純に見えますが、皆が工夫して協力するからこそ成せること。子どもたちの奮闘する姿に、あたたかな社会の原点を見た気がしました。



### <問合せ先>

増田 090-8045-0606 吉田 090-5317-9738

Facebook 「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！